

大分県が目指す
地域とともにある学校

I 学校と地域が「協働」しよう

地域住民 ● ○○小学校では、我が家の田んぼを利用して田植えの授業を行っています。
● 学校から毎年「お願いします」と頼まれるけど…

● 私たちは、毎朝「あいさつ運動」と「交通指導」を行っています。



地域住民

地域住民 ● この活動は何のためにやっているのかの～？
● どんなことに役立っているのかの～？

- 「学力向上」「安全・安心な学校づくり」など、学校運営協議会を導入することでの効果は多様ですが、大切なことは、学校運営協議会や作業部会に関わる人たちが「何のためにこの活動をしているのか」を理解し共有することです。
- 「何のために」を共有することで、「お願い」と「頼まれ事への支援」といった貸し借りの関係ではなく、学校・家庭・地域の「協働」につながり、互いに**有用感（成果）**を実感することができます。
- 「学校教育目標（育成を目指す子ども像）」の達成に向けて、単なる学校支援に留まらず、「**目標を共有した取組**」を目指していきましょう。

CSコンサル

実現に向けて①
学校運営協議会

実現に向けて②
地域学校協働活動

II 地域学校協働活動を「教育課程」に反映しよう

- 本校の教育目標は「夢を持ち、自ら学び続ける生徒の育成」です。
- この目標の達成に向けて、本校では地域の方による職業講話などを教育課程に位置付け、「**社会に開かれた教育課程**」の実現を目指しています。



校長

教科	4月	5月	6月	7月	8・9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学校の教育目標	教育目標「夢を持ち、自ら学び続ける生徒の育成」 ドリームスクール 「地域の先生」による授業 地域とともに目標を共有し、生徒に夢を持たせる取組											
一年	5 課へ入道夢一年に学全単技修け修本目	テーマ こわいもの怪会 SOCITV6.0社会 GT ハイパーネット ワーク研究発表	テーマ 夢を掴む GT ●●●●●さん	(物語)ドリームマップ づくり GT ●●●●●さん		テーマ 職業講話 GT ●●●●●	夢の実現に必要な力の 育成のための少人数 グループのディベート (個人別)GT発表 ～主体的学習の取組～	オアシススクールディ (物語)多 数校単位の少人数 GT 発表 はなまる				
教科	(国)夢を掴む GT アナウンサー (国)夢づくり GT 花組さん	(道徳)中学生にお家 の先生 GT 泉美士	(社)開扉と世界 GT 夢を掴む	(国)夢を掴む GT ()	夢を掴む GT ()					(国)夢を掴む GT 夢を掴む		

● 3学期に学校と地域が**熟議**することが大事ですね。

CSコンサル

取組事例

III 活動の成果を地域に「フィードバック」しよう

● 地域への情報提供は、私の役割です。

地域学校協働活動推進員

- 地域学校協働活動の終了後は、その成果（評価）を、地域に**フィードバック**することが重要です。
- そうすることで、地域の方は**有用感**を実感でき、CSコンサル新たな「協働」につながっていきます。
- 地域の方が「**やってよかった**」と思えることが大事ですね。

各立場がすべきこと
大切な視点